

【「ソフトバンクの孫正義氏」と  
「アリババ」と「ブロックチェーン」  
について考える！】

⇒編集後記で

~~~~~

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【LINE アットでご購読の読者さんへ】

1月中ごろあたりからラインアットさんの  
大幅な値上げ予定に伴い

(私の配信頻度の場合、現状の60倍ほどの価格になる様子)

60倍の配信費用は負担が大きすぎると判断し、  
ラインアットではメッセージ配信数が減る予定です。

あなたが引き続き情報が必要という場合は  
完全無料メルマガを購読ください。

私ゆうのメルマガ購読はこちらです♪

<http://cabinet-ex.jp/fx/1>

(GMAIL は時々 内容が政治経済に突っ込んだ記事のときは  
届かないことが多いので他にアドレスあれば  
そちらで登録推奨です)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**どうもゆうです！**

**さてさて、この前ですが**

**【アメリカ「GAFA」対中国「BATH」  
の恐るべき戦い、について考える！】**

**という号を流しましたが反響がありました。**

**アメリカのGAFAなんかの影響力の増加ってのは  
世間で言われてるけど**

**じわじわと、中国のアリババやテンセントやバイデウやファーウェイ**

**などの影響量が世界で強まってるわけですね～**

PDFレポート【アメリカ「GAFA」対中国「BATH」  
の恐るべき戦い、について考える！】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/gafa\\_bath.pdf](http://fxgod.net/pdf/gafa_bath.pdf)

それで実はこの「アリババ」という、次のグーグルに次ぐ世界企業に  
なりそうなこの会社ですが、

実は日本の孫正義とも極めて近い関係でもあるのですね。

そしてなんとブロックチェーン特許申請数では  
2019年前半はアリババがトップでした。

今日はこの辺について知って考えたいと思います！

編集後記で！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート【アメリカ「GAFA」 対 中国「BATH」  
の恐るべき戦い、について考える！】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/gafa\\_bath.pdf](http://fxgod.net/pdf/gafa_bath.pdf)

PDFレポート

【最近アメリカの大金持ちたちは  
100ドル札と金を備蓄しだしてる！？】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/us\\_rich\\_100dollar.pdf](http://fxgod.net/pdf/us_rich_100dollar.pdf)

写真付き PDF)

【韓国に着いたら空港でバレリーナが踊っていた】  
（台湾の空港では「怪しいロボット」が働いていた）

⇒ [http://fxgod.net/pdf/korea\\_taiwan.pdf](http://fxgod.net/pdf/korea_taiwan.pdf)

年末のPDFレポート！

【金小売り価格がグラム5877円の

「40年ぶりの高値」を年末につけた意味、について考える！】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/gold\\_2019high.pdf](http://fxgod.net/pdf/gold_2019high.pdf)

PDFレポート

【副島隆彦先生の新刊

「全体主義（トータリタリアニズム）の中国が  
アメリカを打ち倒すーディストピアに向かう世界」  
から考える！】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/soejima\\_distopia.pdf](http://fxgod.net/pdf/soejima_distopia.pdf)

PDFレポート

【FXもネットビジネスも「時間の配分」を工夫することで  
収益が10倍変わるっぽいという話】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/fx\\_timeshare.pdf](http://fxgod.net/pdf/fx_timeshare.pdf)

## PDFレポート

【最近の日本の20代、30代、40代、50代は  
価値観が全然違う！？】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/japan\\_sedai.pdf](http://fxgod.net/pdf/japan_sedai.pdf)

## PDFレポート

【アメリカのミレニアル世代は年収3000万円でも  
米と豆食べている？】ことから考える！

⇒ [http://fxgod.net/pdf/us\\_millennial.pdf](http://fxgod.net/pdf/us_millennial.pdf)

(写真29枚) 【台湾の温泉街ジャオシーは  
ただただ素晴らしい】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/taiwan\\_jaoxi.pdf](http://fxgod.net/pdf/taiwan_jaoxi.pdf)

PDFレポート【2019年は結局「負けないこと」を徹底した人が  
資産を増やした、  
という話】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/2019\\_makenai.pdf](http://fxgod.net/pdf/2019_makenai.pdf)

PDFレポート

【「聖なる夜」が「性なる夜」になってしまう日本文化の奥深さ】

について 真面目にクリスマスイブに考える！

[http://fxgod.net/pdf/jp\\_xmas.pdf](http://fxgod.net/pdf/jp_xmas.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート

【「金ゴールドを買う人が増えた2019年」から

2020年代について考える！】

[http://fxgod.net/pdf/gold2019\\_2020.pdf](http://fxgod.net/pdf/gold2019_2020.pdf)

PDF レポート

【イギリスのボリスジョンソン首相の勝利の本当の意味と  
「米英の諜報機関をめぐる本当の裏側の近代史」とは？】

[http://fxgod.net/pdf/boris\\_win.pdf](http://fxgod.net/pdf/boris_win.pdf)

PDF レポート

【南国でイスラムのマレーシアではクリスマスが盛り上がってる！？】

(写真付き)

[http://fxgod.net/pdf/malay\\_xmas.pdf](http://fxgod.net/pdf/malay_xmas.pdf)

PDF レポート

【中国のハイテク企業アリババ・テンセントのすごさと怖さ】

(銀行消滅)

[http://fxgod.net/pdf/alibaba\\_tencent.pdf](http://fxgod.net/pdf/alibaba_tencent.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



**【クリスマスプレゼント動画】**

**「トレードにおける聖杯を伝授！」が  
山之内さんから届きました！**

⇒ <https://vimeo.com/307415558/f51027d16c>

**<対談音声>**

**PART 6**

**【「超有料級」の対談音声（相関性トレードについて）  
を公開します！】**

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/3448641/kakumei2/>

## PART 5

【音声 MP3 ♪「僕はチャートに恋焦がれている！」】

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/3448641/kakumei1/>

## PART 4

音声 MP3 ♪【「ポジポジ病」を克服して  
「負けなくなった」生徒さんたち】

⇒ [http://fxgod.net/onsei/yamanouchi\\_10oku4.mp3](http://fxgod.net/onsei/yamanouchi_10oku4.mp3)

## PART 3

音声 MP3 ♪【どのようなときに山之内はポジションを  
撤退・決済するのか？】

⇒ [http://fxgod.net/onsei/yamanouchi\\_10oku3.mp3](http://fxgod.net/onsei/yamanouchi_10oku3.mp3)

## PART 2

音声 MP3 ♪【借金 1000万円から12年かけて  
資産 10億超えに這い上がった方法論とは？】

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/3448641/10oku2/>

## PART 1

音声 MP3 【「資産数十億円になって変わったこととは？」】

⇒ [http://fxgod.net/onsei/yamanouchi\\_10oku1.mp3](http://fxgod.net/onsei/yamanouchi_10oku1.mp3)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

※以下は2019年にまとめた記事で  
2019年終わり時点で「めっちゃ増えました」という声を  
結構読者さんからいただいたものですね～

私的企業と公的部門がズブズブ癒着してる  
共産主義国家の日本の株だと利益率がそこまで高まりづらいかもですが

日本以外の私的企業と公的部門をなるべく分離して  
資本主義を導入しだしてるアジアなどの国の株式市場で  
かなりの優位性が発揮できてます。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【億万長者バフェット学】  
(全項目、上から読んで全項目を考慮して  
負けない投資を戦略立てる。)

PDF【資産10兆バフェットは大衆投資家が暴落で焦ってるところで買う】  
(億万長者バフェット学)

[http://fxgod.net/pdf/buffet\\_theory1.pdf](http://fxgod.net/pdf/buffet_theory1.pdf)

PDFレポート

【億万長者のバフェットが避けたがる  
「コモディティ型企業」について知る！】

(億万長者バフェット学)

[http://fxgod.net/pdf/buffet\\_theory2.pdf](http://fxgod.net/pdf/buffet_theory2.pdf)

PDFレポート【投資したら損する「コモディティ企業」を  
バフェットが見分ける「7つの基準」とは？】

(億万長者バフェット学)

[http://fxgod.net/pdf/buffet\\_theory3.pdf](http://fxgod.net/pdf/buffet_theory3.pdf)

PDF【バフェットが愛する「消費者独占型の企業」とは何か？】

(億万長者バフェット学)

[http://fxgod.net/pdf/buffet\\_theory4.pdf](http://fxgod.net/pdf/buffet_theory4.pdf)

PDFレポート

【バフェットが「消費者独占型企业」を見極める  
3つの方法とは?】

[http://fxgod.net/pdf/buffet\\_theory5.pdf](http://fxgod.net/pdf/buffet_theory5.pdf)

PDFレポート

【バフェットが株を仕込む際に見る「ROE 15%基準」とは?】

[http://fxgod.net/pdf/buffet\\_theory6.pdf](http://fxgod.net/pdf/buffet_theory6.pdf)

PDFレポート

【「バフェットが消費者独占型企业を  
割安かどうか見抜く計算式」とは? (億万長者バフェット学)】

[http://fxgod.net/pdf/buffet\\_theory7.pdf](http://fxgod.net/pdf/buffet_theory7.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

===== 編集後記 =====

さてさて、今日は引き続き世界でも注目されている

**中国の BATH** について考えたいと思います。

一応去年なんかはアメリカの GAFA というグーグル、アップル、

フェイスブック、アマゾンなんか注目されていたけど

もう最近是中国の BATH っていうのが世界の投資家たちに

注目されだしているわけですね。

PDF レポート【アメリカ「GAFA」 対 中国「BATH」

の恐るべき戦い、について考える！】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/gafa\\_bath.pdf](http://fxgod.net/pdf/gafa_bath.pdf)

また日本の世論見るにこの「BATH」という

アリババ、テンセント、バイデウ、ファーウェイなんかを

示す用語は普及していないけど

やはりこれから中国系の企業がどんどん頭角を現すってのが

2020年代ですよ。

それでこのBATHの中でも最も有名なのが

おそらくアリババなんですが

このアリババってのは実のところ世界の企業の中で



ブロックチェーン特許の申請件数でなんと

~~~~~

世界一です。

~~~~~

ブロックチェーンってのは日本語では

分散型台帳ですが

この分散型台帳ってのが2017年にビットコインでも

騒がれた暗号通貨の中心、心臓部のセオリーですよね。

ブロックチェーンというのはもともと、鉄の輪っか（ブロック）が

連なる（チェーン） 鉄製の鎖のことですが

ここでは技術的に鉄の輪（ブロック）のひとつひとつが

独立してつながる という理論ですよね。

このブロックチェーン理論によって

コンピューター1台ずつ、バラバラでありながらつながっている、

という技術が生まれたわけです。

この技術が以前に扱っているアリババなんかの

スマホ決済に応用されたわけですね。

PDFレポート【アメリカ「GAFA」対中国「BATH」  
の恐るべき戦い、について考える！】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/gafa\\_bath.pdf](http://fxgod.net/pdf/gafa_bath.pdf)

それで**ブロックチェーン特許申請件数**を見ると、

2019年上半までですと

1位アリババ 322件 (中国)

2位中国平安 277件 (中国)

3位 nChain 241件

4位 杭州複雑美 122件 (中国)

5位 IBM 104件 (アメリカ)

6位 衆安科技 99件 (中国)

7位 バイデウ (百度) 90件 (中国)

8位 元征科技 86件 (中国)

9位 チャイナユニコム 81件 (中国)

10位 マスターカード 79件 (アメリカ)

となっております。

だから最近のブロックチェーン技術ってのは

ほとんどが中国なんです

もうここでブロックチェーンで覇権を握ろうとしているのが

これ中国なわけですね。

それでアリババの子会社であるアントフィナンシャル社ってのが

以前に扱ったアリババの「アリペイ」を扱ってまして

それでこの アリペイがネット決済を行っているわけですね。

そこで預金と融資まで行っている。

それでこのアント・フィナンシャル（アリババ）

がすさまじい勢いでブロックチェーンについての新しい特許を

申請していたのが2019年でして、

この動きは意外に世間では知られていない動きだったかも

しれません。

さあじゃあ ということは？

アリババはもうこれから次世代暗号通貨の技術で

~~~~~

世界に君臨することを狙っている

~~~~~

ということです。

それでおそらくこれは5年くらいすると

中央アジアに新しい世界銀行みたいのが出来てきますが

そのアメリカが威力を落とした後の

新世界通貨体制を支える技術となっていくわけですね。

それで去年の2019年注目だったのが

アリババ創業者である、私のメルマガでも以前扱った事が

ありますが

ジャックマーさんが9月10日に会長を退任したわけです。

この日は彼の55歳誕生日であったけど

ちょうど1年前に彼は「私は来年に引退する」ということを

公言していました。

ここで何が起きていたかですよ。

それで実は、ここを知っておきたいところなんですが

このアリババのジャックマーの株つてのを大量に持つてる

日本人がおります。

それは誰か？というと

そう、それがソフトバンクの孫正義さんなんですね。

~~~~~

アリババが創業してすぐにその1年後の2000年1月に

孫正義がポンと20億円を出資して大株主になった

んです。

ちなみに本当はこれは副島先生の書籍によると

あの超巨大ファンドのブラックストーンの会長である



スティーブ・シュワルツマンが指図したということですね。

だから大きく言うと、副島先生いわく

大きくはジャックマーの親分もシュワルツマンなのだ

ということなんです。

だから世界ってのはブラックロックとか、JP モルガンなんかが

動かしているなんてのが実態なんでしょう。

それでよく 孫正義氏のインタビューで

「私は馬氏と会って、5分で出資を決めた。

彼の目にカリスマを見た。

2000年、北京市内のホテルで馬を見たとき、

その場ですぐそう感じた」

と孫正義さんが言ってるわけですが

まあ実際は・・・っていう話ですよ。

「元から大きな流れを知っていた可能性」をどうしても

考えてしまいます。

それで1999年の創業からたった20年で

もうアリババ（とテンセント、だけどこっちのテンセントは  
半分国営企業）

は世界の金融業であつたりをガラリと改変してしまうくらいの

改造してしまうくらいの強烈なところまで

来てしまった訳ですね。

最初は単なる電気通信のスマホ屋さんが

ついに銀行=バンクを追い詰めて、

そしてその銀行そのものを葬ろうとしているわけでありませう。

すなわちもう中国の勝ちなんですね。

一方最近は、今の今でも、アメリカの金持ちであったり

普通の人であっても

小切手帳を持っていてそこで月60ドルとかの

電気代を小切手で郵送で払ってる本当のあほっぽい人が

実際にいるわけですね。

本当にいるんです。

だからこうやってずっと威張ってきたのが

アメリカ白人の時代であったけど、

もう彼らの時代は本格的に終わっていくんです。

それでヨーロッパの白人文明が始まって

ちょうど500年となります。

西欧近代ってのは500年前のオランダでスペインとの

独立戦争のさなかに生まれたんです。

そして近代の銀行というのは

オランダのブルージュのメディチ家のブルージュ支店から

始まったのですね。

この西暦1490年くらいがまさに

イタリアのルネサンス運動の最盛期であったけど

いよいよこの欧州白人たち中心の時代も終わり

本格的に 中国のアリババなどが音頭をとって

アジア人が中心になる、そんな時代に本当になっていく。



ソフトバンクの資産は7000倍にも膨張した



それで上に 日本のソフトバンク孫正義氏が

当時ジャックマーと初対面したときに

5分で20億円の出資を決めたという話がありますが

まあやはり全て計画通りであったのでしょう。

孫さんの後ろってのは有名な話だけど

デービッドロックフェラなんかのロックフェラ財閥がいるのは

結構有名な話で、

日本の NTT を第 2 電電、通信革命で叩き潰したのは

ロックフェラーだったとも言われる。

彼らは「通信革命の行く末をはじめから知ってる」んですね。

それで副島先生の書籍だと 孫正義氏ってのは

ロックフェラーの忠実な家来だ、という話がされている。

それでアリババもだから、ロックフェラー財閥の意思で

インターネット IT 革命の一部として

はじめから作られた企業であって



だから孫正義氏が初で仕込んだ

20億円は、

今14兆円まで膨張してそして

孫正義ソフトバンクグループの資産の中心となっている。

だから実に20億円が14兆円になって

~~~~~

7000倍となった。

~~~~~

2019年の6月4日に、ソフトバンクが

「アリババ株関連の1部売却で1.2兆円の会計上利益を

計上した」

と発表しましたが

持っていたアリババ株の売却利益と

関連するデリバティブの取り崩しで

1. 2兆円を作ったわけですね。

そしてこの金はすぐアメリカに回されて、

そしてアメリカ国内に半導体工場を作る資金に回されて

そしてサウジアラビアのムハンマド皇太子と共同出資と

なりました。

だから面白いことで、どうもソフトバンクの真実の資産の

14兆円ってのはほとんどがアリババ株なのでありますね。

それでこの14兆円を担保にしてそしてこれまた

バンバン資金調達しているわけですが

だからジャックマーのアリババ株14兆円を使って

そして錬金術をどんどんやってるわけですね。

「アリババと40人の盗賊」にかけて、

この孫正義さんの「魔法のランプ」がアリババなのだ

という言われ方もしていますが

孫正義がアラジンで

アリババ株が魔法のランプですよ。

20億円が7000倍の威力はすごいものですよ、ほんと。

それで今から20年前の1999年に

これまた同じようなことがおきていて、

今やなつかしい渋谷ビットバレーのIT革命で

孫正義のヤフージャパンは、最初の150万円が

1億7000万円に株価が急上昇した。

ヤフーが1997年にJASDAQ市場に店頭登録して

この年につけた安値の154万円は

2000年2月22日には

1億6790万円となった。

実に110倍となった。

たったの3年間で。

ヤフーは2006年までに13回も株式分割をやって

ぶかぶかに株式数を膨らませて、

この株式分割で株価をあげた。

しかしこの直後2000年2月末に突然の

「ネットバブル崩壊」があったんだけど

そこでみんな大損しましたが、

そこで仕組んで仕掛けたロックフェラー財閥と

その子分たちだけはそのまま 前進して、

次の儲け口をみつけてそれがまさにアリババだったけど

そこで7000倍に資産を増やしたわけですね。

なんともすごいもので資本主義の爆発力ではありますが

ただここで知りたいのは

「初めから分かってるやつは分かってる」

わけですね。

世界はいつもこのように動いてるわけです。

~~~~~

だから多くの人たちが 予測、とか予想で動いてるけど

それは分かってるやつにはかなわない、わけですね。

逆を言うとわかってくるくらいの強烈な確信がないと

入ったらやられるよってことでもある。



貿易戦争はハイテク戦争になって  
そして金融戦争になっていく



それでどうもこの孫正義と言う人は私は大変勉強になることを

いってる方だな~と思いつつも

やはり副島先生の分析見るとブラックロック CEO の

シュワルツマンが親分で彼の指図に従って動いてるってのは

知っておきたいところですよ。

ただここで面白いのがアリババのジャックマーも全く



それと同じような構図だったはずなのですが・・・

このジャックマーは同じ親分であるシュワルツマンに

どうも逆らっているのです。

ジャックマー、馬雲は

「私は中国人だ、中国共産党員だ。

中国を裏切らない」

と、言った。

だからすなわちアリババはアメリカには渡さないとしたわけで

ここでアメリカ側は仰天したのです。

去年アリババに対してアメリカのほうからあった圧力として

「急いで5 著円を作って差し出して

そしてアメリカ国内に半導体の工場を作れ」

というトランプのIT 戦略があったのですが

ここでジャックマーはそれを拒絶した。

当時ジャックマーは相当苦しんだようで

そこでアメリカのトランプと 中国共産党の板ばさみになって

そこで相当悩んだ。

それでジャックマーは

**「私は祖国中国を裏切らないし、愛国者だ」**

ってことでここで

ジャックマーは1年後の2019年9月には

退任することを明らかにした。

こうしてアリババ自体はアメリカに取り上げられずに済んだ

わけですが

だからアリババは中国資本のまま、なんですね。

だから今年なんかもこのアリババをめぐる

アメリカと中国の戦いなんかは継続するだろうと見えまして

アリババは事実上アメリカを裏切って、

そしてアメリカの戦略に逆らったっていうことになってる

わけですね。

だから最近は去年9月にはNYタイムズ紙にも

「アメリカ政府はアリババ株をNY株式市場から

上場廃止を検討」

なんてのも出てきた。

だから孫正義にもこれからアメリカ側から

「アリババ株をさっさと売れ、株価が高いところで  
どんどん売り払え」と支持されるだろう、なんてことが

副島先生の分析でありました。

が、それでも BATH の一員である、  
アリババとファーウェイこそはもう影響力が無視できない企業であり

ここを潰してしまうと、

ここで NY 市場全体がガラガラと崩れてしまいますから、

大損するのはアメリカ人投資家たちでもあります。

だからこれが米中貿易戦争の資金面での大激突でありまして

ハイテク戦争はすでに金融戦争となったわけですね。

それでソフトバンクなんかはそこに実はすごい

関わっていて

孫正義のソフトバンクなんかの一番大きなヒミツがこの

アリババ株 1 4 兆円であって

アリババ株の時価総額 4 8 兆円のうち 1 4 兆円で大体 3 割は

ソフトバンク所有であったわけで最大株主なのですね。

このアリババ株が孫正義のものなのか、ソフトバンクのものなのか

ここをある意味税のためにごまかしてるんだっていうことが

副島先生の書籍であったことですが

どうもこの14兆円こそが孫正義の宣伝するビジョンファンドの

原資と信用の全てであるっていうことですよね。

14兆円担保にしてみずほ銀行他から20兆円以上の

大借金を引っ張ってきてると。

それでかつてアメリカではデービッドRFが

苦境に陥ったらメディア王といわれた

ルパートマードックが助ける力もあると言われていた。

だから孫正義なんかはルパートマードックにもかなり

かわいがられていたという話もあります

いずれにしてもやはり孫正義と言う人は

投資家として、無視できない人でもありますよね。

ちなみに日本でも孫正義と言う人は

色々話題になる人だとは思いますが

私は普段マレーシアに住んでいてもやはり彼の名前を聞くことが

あってそれが



**GRAB ですよ。**

どう見てもこれから伸びるサービスが GRAB なんですが

日本だとやはり孫正義が GRAB に出資してるんです。

だからマレーシアなんかでも GRAB の話がネットで出てくると

最近はやっと独占具合が問題にもされるけど

「日本のソフトバンクに買われたから・・・」みたいなことを

書き込むマレーシア人もいたりする。

良いも悪いもこの孫正義のマネーの影響力は

(アラムコの件もあり)

世界でも注目されてきてるな、というのは感じます。

それでこういう大きな流れを追っていくと分かるのですが

もうアメリカ企業の時代ってのが徐々に弱くなってきていて

次は中国企業の時代なんだってことですよね。

それでわかってくるのが

アメリカと中国の貿易戦争とは言われますが

それはスマホを介した IT ハイテク戦争のようにも見えますが

実際は現下の貿易戦争ってのは

「金融戦争」だったのだと。

5 G ファイブジーの世界基準を握った中国ファーウェイを

めぐるあれこれの抗争と、

米中政府間の衝突だけではなかったのですね。

問題はファーウェイではなくアリババとテンセントだった

わけです。

アリババが先駆して握り締めた

スマホ決済と与信（金融）さらには預金機能が

世界の金融体制を根底から覆しつつあるわけです。

銀行は消滅していくし、

クレジットカード会社もカード会社も銀行も

世界中で消滅していく流れです。

ヨーロッパの近代、モダンが開始して500年ですが

この500年間の欧州近代文明が敗北しつつあり

それに「とどめ」をさすのがどうもアリババだってことが

わかってきます。

そのためのアリババのブロックチェーン特許の申請ですよ。

ちなみに孫正義氏の力の謎もこれまたアリババだった

というのがわかってきてる。

ということで驚愕の事実ではありますが

ほんと世界は激動を伴って動いてきておりますね。

それで結局なんですが今だとイラン関係の話で

色々ごたごたしているのですが

イランはどうなるか？というと

端的に言うところから 中国とロシアとくっついて

なんとかうまく進むのがイランであり

そこでアメリカとはさようならしていくわけですね。

だから大きくは世界を引っ張ってきたのがアメリカだったけど

これからそうじゃなくなってきて

中国やロシアが世界を主導していく中心となっていく

わけですね。

こういう大きな変化に最終的にはつながっていくような

ニュースが今年はより増えると思いますので

大きな流れをしっかりと把握して、仕掛けて行きたいものですね。

それでは！

ゆう

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

### PDFレポート

【アメリカのミレニアル世代は年収3000万円でも  
米と豆食べている?】ことから考える!

⇒ [http://fxgod.net/pdf/us\\_millennial.pdf](http://fxgod.net/pdf/us_millennial.pdf)

(写真29枚) 【台湾の温泉街ジャオシーは  
ただただ素晴らしい】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/taiwan\\_jaoxi.pdf](http://fxgod.net/pdf/taiwan_jaoxi.pdf)

PDFレポート【2019年は結局「負けないこと」を徹底した人が  
資産を増やした、  
という話】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/2019\\_makenai.pdf](http://fxgod.net/pdf/2019_makenai.pdf)

PDFレポート

【「聖なる夜」が「性なる夜」になってしまう日本文化の奥深さ】

について 真面目にクリスマスイブに考える！

[http://fxgod.net/pdf/jp\\_xmas.pdf](http://fxgod.net/pdf/jp_xmas.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート

【「金ゴールドを買う人が増えた2019年」から

2020年代について考える！】

[http://fxgod.net/pdf/gold2019\\_2020.pdf](http://fxgod.net/pdf/gold2019_2020.pdf)

PDFレポート

【イギリスのボリスジョンソン首相の勝利の本当の意味と

「米英の諜報機関をめぐる本当の裏側の近代史」とは？】

[http://fxgod.net/pdf/boris\\_win.pdf](http://fxgod.net/pdf/boris_win.pdf)



PDFレポート

【南国でイスラムのマレーシアではクリスマスが盛り上がってる！？】

(写真付き)

[http://fxgod.net/pdf/malay\\_xmas.pdf](http://fxgod.net/pdf/malay_xmas.pdf)

PDFレポート

【中国のハイテク企業アリババ・テンセントのすごさと怖さ】

(銀行消滅)

[http://fxgod.net/pdf/alibaba\\_tencent.pdf](http://fxgod.net/pdf/alibaba_tencent.pdf)

【クリスマスプレゼント動画】

「トレードにおける聖杯を伝授！」が  
山之内さんから届きました！

⇒ <https://vimeo.com/307415558/f51027d16c>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆